

平成31年第1回横手市議会3月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成31年3月6日（水）～8日（金） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	質問区分	頁
6日	1	2番	高橋和樹 議員	一問一答	1
	2	24番	土田百合子 議員	一括	2
	3	1番	本間利博 議員	一括	4
	4	4番	大日向香輝 議員	一括	5
7日	5	6番	加藤勝義 議員	一括	6
	6	8番	寿松木孝 議員	一問一答	7
	7	13番	菅原正志 議員	一問一答	8
8日	8	7番	奥山豊和 議員	一括	9
	9	11番	立身万千子 議員	一括	10
	10	10番	鈴木勝雄 議員	一括	11

※質問区分の説明

- 一括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。
- 一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から1つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

1. 【2番 高橋 和樹 議員】(一問一答)

1. 横手駅東口における市街地再開発事業について

- 1) 市長の公約にある「横手駅東口開発促進」がスタートとなるこの事業計画において、現在までのプロセスに問題は無かったのか伺う。

- 2) 全国の各地域で「中心市街地再開発事業」が行われているが、その中の失敗例から学び、この事業に向かっているのか。
また、当市の駅東口第一地区の再開発から学んだことはあるのか。あるならば、それを生かした今回の計画なのか伺う。

2. 【24番 土田 百合子 議員】(一括質問一括答弁)

1. 子育て世代包括支援センターの設置について

国は、地方創生、まち・ひと・しごと創生総合戦略として、妊娠から育児までを切れ目なく支援することを目的とし、母子健康手帳の交付から子育てに関する悩みの相談までできる「子育て世代包括支援センター」の設置について、平成32年度までに全国展開を目指し取り組むとしているが、本市が目指す「子育て世代包括支援センター」について伺う。

- 1) 子育て世代包括支援センターの目的や役割、情報発信について伺う。
- 2) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制、「(仮称)よこてネウボラ」についての考えを伺う。
- 3) 主な役割として未就学児の保育・幼稚園の利用相談にワンストップでの対応や、地域の子育て支援団体と連携を図り、出張相談にも取り組む「子育てコンシェルジュ」の配置について伺う。

2. 幼児教育・保育の無償化について

- 1) 今年10月からスタートする幼児教育・保育の無償化については3～5歳児の全世帯、0～2歳児の住民税非課税世帯を対象としている。さらに、給食費のうち、おかずなどの副食費の免除対象を、現在の生活保護世帯等から年収360万円未満の世帯まで広げる事となる。子育て世代への調査で理想の子どもの数を持たない理由として最も多かったのは「子育てや教育にお金がかかるから」である。幼児教育・保育の無償化をはじめとする教育費の負担軽減は重要な少子化対策の一つであると考え。本市の準備状況と対象世帯数、取り組みについて伺う。

3. 消費税引き上げに伴う経済減少対策の準備について

- 1) 国では、10月の消費税率10%への引き上げに伴う反動減対策として①プレミアム付商品券事業、②クレジットカードなどのキャッシュレス手段による買い物に対するポイント還元事業、さらに、③マイナンバーカードを活用した消費活性化策、「マイキー

プラットフォーム構想」が実施される予定だが、これらの施策に関する準備状況、情報収集について伺う。特にマイキープラットフォーム等を活用した消費活性化策は平成 29 年度から事業がスタートしており、総務省から事業参加の呼びかけがあったと思うが本市の取り組み状況について伺う。

4. 横手大戸川・横手川合流点周辺の水害対策について

1) 黒川地区会議から、横手大戸川についての要望を県平鹿地域振興局建設部に提出している。

- ① 横手大戸川・横手川合流点周辺の河道掘削
- ② 堤防が低い区間の解消

これまで、地元では大雨により増水するたびに土のう設置などの水防活動を行っている。地元住民と県平鹿地域振興局建設部担当が現状把握と問題解決に向けて取り組んでいるが、横手大戸川・横手川合流点周辺の河道掘削土砂の捨て場の確保が、これからの課題である。市として、災害用の残土置き場の考えについて伺う。

3. 【1番 本間 利博 議員】（一括質問一括答弁）

1. 今後の雪対策について

- 1) 空き地所有者の方から雪押し場を提供していただくための一助として、土地の固定資産税の一部を減免できないか伺う。

2. 埋蔵文化財の有効活用について

- 1) これまでの発掘調査で明らかになった建物や当時の風景を、VR、AR等で公開できないか伺う。
- 2) 埋蔵文化財発掘調査事業の現状について伺う。

4. 【4番 大日向 香輝 議員】（一括質問一括答弁）

1. 施設展望のその後を問う

- 1) 昨年8月に「横手市の施設展望」が議会に提出され、議会で一度論点整理をし10月に回答をもらったが、総合計画に載っていない施設も見受けられる。施設展望に記載された施設の事業実施の優先順位は何をもって決めたのか伺う。また、推定事業費の根拠と進捗状況を伺う。
- 2) 多目的総合施設の取り組みについて、前回の（仮称）よこてアリーナ構想は市民への説明不足などの理由により議会で関連予算を削除された経緯があるが、多目的総合施設の整備にあたり一番大切な事で、一番先に進めなければならないことは、市民が納得した上での建設の賛否を問うことと思うが、どう考え進めていくのか伺う。
- 3) 施設展望の中で多目的総合施設の事業費が推定60億円と記載されている。従前の構想では100億円弱の事業費だったと記憶しているが、前計画との事業費の乖離が非常に大きい。前計画との違いを問う。
- 4) 数多くの遊休施設、また使用頻度のきわめて少ない体育施設数が各地域で目立つ。すべて調査をし、利用者や維持費等合理的な理由付けの中でのFM計画のローリング等が行われているべきと思うが、市民、議会に対しての報告が薄いと感じている。当局としての考えを伺う。

5. 【6番 加藤 勝義 議員】（一括質問一括答弁）

1. 市政運営について

- 1) 施設展望について、議会の質問書に対する回答の中で、平成31年度中に実施可否決定としている施設があるが、その決定までのプロセスを伺う。

- 2) 今後の自治体の財政難や人口減少時代に、一自治体がフルセットでの行政運営を行うには課題がある。都市機能（医療・福祉・子育て支援・商業等）や公益施設と観光について、近隣自治体間圏域連携や遠隔自治体間連携、そして県との垂直連携をどのように考えているのか伺う。

2. 増田まんが美術館について

- 1) まんが美術館と増田のまちなみとの具体的な連携策を伺う。

- 2) 今までまんが館が入っていた複合施設「増田ふれあいプラザ」から、場所移転した生涯学習機能や公民館施設の移転先施設の不自由さの声が住民から出ている。現状把握と対応方法を伺う。

6. 【8番 寿松木 孝 議員】（一問一答）

1. ホップの振興策について

栽培技術の向上のための支援を行い、生産者の経営安定化の後押しをして新たな生産者確保や育成の強化を図り、持続可能なホップの郷づくりを目指すとの方針の具体策について伺う。

- 1) ホップの栽培はかなりの特殊性を持っている状況からも、この支援を図る上での第一歩として戦略作物としての指定があるべきと思うが、如何か。

- 2) 当市は麒麟株式会社と連携協定を締結しているが、この内容からも、麒麟社から直営圃場を運営してもらう事で新品種の開発や栽培技術の向上を図ることが可能と考えられる。また、この事が観光につながっていく可能性も感じるが、今後の展開は。

- 3) 新たな生産者の確保を図るためにも、本格稼働となる実験農場での研修プログラムの一つに組み入れることで就農者確保につなげる事も考えるべきと思われるが、如何か。

2. 新たなイベントへの対応は

昨今はさまざまなイベントが多様化してきていると感じる。これまでの施設見学型の観光に併せ、これらのイベントによる新たな観光の可能性とその対応について伺う。

- 1) 今年の9月には横手ライド（仮称）が初開催されるようだが、その内容と市の対応は。

- 2) 数年前から当市でJAF 東日本ラリー選手権として開催されていた横手ラリーのようだが、今年からは全日本戦に格上げとなつての開催になるとの事ようだ。その対応について伺う。

7. 【13番 菅原 正志 議員】(一問一答)

1. わかりやすい議会への説明のあり方について

- 1) 実践に向けて心がけていることを伺う。
- 2) 答弁やプレゼンのあり方についてどう考えているのか伺う。

2. キャリア教育における小・中・高の連携について

- 1) 新卒者ができるだけ多く地元で働く取り組みについて伺う。

3. まちづくり推進部のこれからについて

- 1) 地区交流センター化の進捗状況について伺う。
- 2) 地域づくり活動の質の向上に向けての取り組みについて伺う。
- 3) 地域局との連携について伺う。
- 4) スポーツ立市はどう展開していくのか伺う。

8. 【7番 奥山 豊和 議員】（一括質問一括答弁）

1. 何のために、横手市はシティセールスを行い海外に目を向けるのか

1) 平成31年度一般会計当初予算案から、次の項目における現状認識（成果と課題）、今後の具体的取り組みと方向性を伺う。

① 総務管理費「シティセールス事業」

② 社会教育費「増田まんが美術館情報発信強化事業」

③ 保健体育費「ホストタウン事業」

④ 商工費「海外販路開拓支援事業」

⑤ 商工費「インバウンド対応事業」

⑥ 農業費「インドネシア農業交流支援事業」

9. 【11番 立身 万千子 議員】(一括質問一括答弁)

1. 誰もが個々のニーズに応じた支援が受けられる「地域づくり」を進めるために

- 1) 高齢者・生活困窮者・障がい者・子ども等を対象とした各制度下での取り組みをどこがどうカナメとなって支援していくか。
- 2) 各協議体の取り組みについての、課題は何か。その解決策をどう講じていくか。

2. 都道府県化の2年目となる2019年度国民健康保険事業の見通しについて

- 1) 保険料率の方向性はどうか。
- 2) 保険者努力支援制度をどう捉え、具体化するか。
- 3) 少子化克服の一方策として、子どもの均等割を免除する施策を求めるがどうか。

3. 10月に予定される消費税増税により、市政運営(特に病院経営)にあげられる問題点をどう捉え解決していくか

- 1) クレジットカード等での医療費払いで、ポイント還元を推奨するのか。
- 2) 軽減税率適用を考えているのか。その場合、診療以外の料金をどう扱う方針か。
- 3) 病院事業として、インボイス方式導入の対象になるのか。

10.【10番 鈴木 勝雄 議員】(一括質問一括答弁)

1. 農業施策等について問う

- 1) 園芸作物の拡大について伺う。
- 2) 土壌分析センターの活用について伺う。
- 3) 生産工程管理(GAP)による安心、安全を確保するための取り組みについて伺う。
- 4) 地域種苗支援センターの研修及び施設整備について伺う。
- 5) 園芸作物等へ、市独自の支援対策について伺う。
- 6) 販路拡大の一貫した支援体制の構築について伺う。

2. 健康増進法の取り組みを問う

- 1) 受動喫煙防止対策の施設整備等について伺う。

平成31年3月定例会日程予定【会期24日間】

本会議

午前10時開会予定です・傍聴できます

- ◇2月25日（月）〔開会〕議案上程 ほか
- ◇2月26日（火）議案上程
- ◇3月 5日（火）会派代表質問
- ◇3月 6日（水）一般質問
- ◇3月 7日（木）一般質問
- ◇3月 8日（金）一般質問
- ◇3月20日（水）委員長報告 ほか 〔閉会〕

傍聴席は本庁舎7階です

委員会

- ◇2月26日（火）一般会計予算特別委員会
- ◇3月11日（月）各常任委員会
- ◇3月12日（水）一般会計予算特別委員会分科会
- ◇3月20日（水）一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

